

こ ん に ち は、 小 川 あ き ら で す。

きらきら通信

夏号
2022.7月

議会報告

今年はこの委員会に所属します！

豆知識

ぐんま大雨時デジタル避難訓練

一般質問に登壇しました！

環境農林常任委員会の月一県内調査

味方になりきるコミュニケーション講座

shall we 投票？

※撮影時のみマスクを外しています。

群馬県議会議員 リベラル群馬

6月27日、関東地方では気象庁の統計開始以来、最も早い梅雨明けを記録し、連日の猛暑となりました。伊勢崎では40.3度の今年一番の暑さを記録しましたね！本格的な夏を迎えますが、エアコンや扇風機で温度や湿度を調整して、こまめに水分補給をするなど、熱中症対策をしながら暑い夏を乗り切りましょう！また屋外ではマスク着用により熱中症のリスクが高まるため、散歩やランニング、通勤、通学時においては、周囲と2メートル以内で会話をする時以外、マスクを着用する必要がないこと、特に運動時には、忘れずにマスクを外すよう厚労省から示されています。特に子どもたちは自分で判断できないことも多いので、周りの大人がマスクを

外すよう適切に声をかけてあげましょう。新型コロナウイルス感染症は依然として予断を許しませんか、少しずつwithコロナの社会が動き出しています。コロナの影響で中止やWEB開催になっていた前橋七夕祭りは、3年ぶりにwithコロナ時代に適した形で現地開催されました。前橋花火大会や前橋祭りも実施方法を工夫しながら現地で開催する予定です。伝統行事や文化に触れることは、郷土愛や地域の絆が深まるだけでなく、長引くコロナ禍で閉じこもっていた心身の健康や幸福度の向上のためにも大切ですよ！この夏は、熱中症と新型コロナウイルス感染症に気を付けながら、地域行事や色々な体験を楽しんでください。

今年はこの委員会に所属します！

総務企画常任委員会

知事戦略部(新たな重要施策の企画・立案、情報発信)、総務部(財政、危機管理)、地域創生部(地域振興・芸術文化・スポーツ)の所管に関する事項などを審査する委員会です。

こんな質問をしました！

- ぐんまちゃんナンバーについて
- 障害者の芸術文化活動について
- 総合型地域スポーツクラブについて
- 職員の定年の引き上げについて
- セクハラ・パワハラ等の相談状況、相談体制について
- 職員の時間外勤務の状況について
- 業務の削減・見直しの取り組みについて
- 県庁32階の来場者数

令和元年～令和2年にかけて動画放送スタジオ、カフェ、官民共創スペースを整備した県庁32階ですが、令和2年度の来場者数は10万1,441人だったのが令和3年度は12万9,900人に、今年度は4・5月の2か月間で29,000人が来場しているとのこと。

今年は31階のリニューアルも控えています。活用方法をしっかり検討し、県民の皆さんに整備効果を感じていただけるよう注視していきたいと思ます。

子育て・障害者支援に関する特別委員会

子育て及び障害者支援について一体的、横断的、集中的に審査を行う委員会です。

こんな質問をしました！

- 障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法について
- 子どもの居場所づくり応援事業補助金について
- スクールソーシャルワーカーの配置状況と活動状況について

スクールソーシャルワーカーは、現在派遣型5名、巡回型18名を配置し、ケース会議100件、つなぎ支援450件の

対応をしているとのこと。年々配置人数を拡充していただいているものの、2週間に1回程度中学校区を巡回するという頻度では多様化する困難事例に十分に対応するのが難しいので、さらなる配置を要望しました。

(特に小学校のニーズが高まっており巡回数を増やしてもらいたいという声が多いです。)

また、独自に配置している自治体の活動状況(令和2年度)をみると、前橋市では1名のSSWを配置し78件の困難事例に対応、高崎市は6名のSSWを配置し、ケース会議や学校訪問、家庭訪問など延べ1127回も対応しています。教員とSSWの役割分担や支援方針など学校と連携した対応が求められるため、県独自の派遣・巡回型よりも、各市町村教育委員会にSSWを配置し、それぞれの自治体にあった活用を進めてもらった方が、効果的に対応できるのではないかという提案もさせていただきました。

● 結婚・子育てパスポート事業について(ぐんまきよきパスポートのデジタル化や結婚応援パスポートの利用状況)

【ぐんま結婚応援パスポート】は、認知度の低さが課題となっています。

婚姻届を提出したカップルだけでなく、結婚予定の方、事実婚や同性カップルの方も利用できるため、対象になる方は是非ご利用ください。

飲食店や宿泊、レジャーの割引・サービスだけでなく、同居生活に必要な家具や家電の割引、不動産契約の際の仲介料の割引や商品券のプレゼントなど、結婚前から利用できるサービスもたくさんあります♪

まだまだ知られていないので、学生や会社の新入社員など身の回りの若い世代の皆さんにお知らせくださいね^^

ぐんま結婚応援パスポート



議会報告

令和4年第2回定例会が5月24日～6月15日までの23日間の会期で開催されました。

今議会では、医療機関の新型コロナウイルス感染症対策やウクライナ避難民の受け入れのための生活セットアップ支援や県営住宅の修繕など合計12億9095万円の補正予算に加え、

低所得ひとり親世帯に対する生活支援や中小企業者等への産業支援など合計30億8040万円の追加補正予算を可決しました。また、東毛地域・西毛地域で相次いで降ひょうの被害が発生したことから【降ひょう被害に対する支援の充実を求める決議】を可決しました。

ぐんま大雨時デジタル避難訓練

県公式LINEアカウント「群馬県デジタル窓口」を活用した【ぐんま大雨時デジタル避難訓練】がスタートしました！

スマホでできる5分の避難訓練。自分が住んでいる地域にどんな危険が潜んでいるか、ハザードマップや避難先、避難のタイミング、いざという時に役立つ防災情報や避難情報をチェックして防災意識を高めましょう！



詳細と「友だち追加」はこちらから



県議会の豆知識



田島和雄個展

群馬県産シルクハット

宇宙少年団前橋分団

茂木絢一個展

未来構想フォーラム

後援会女性部たけのこ堀

参議院議員選挙応援

室沢棚田ピクニック

一般質問に登壇しました！

会派を代表して5月30日に一般質問に登壇しました。

(質問テーマの中から抜粋して報告します！)



1.【改正障害者差別解消法】について

小川: 障害者差別解消法が一部改正され、昨年6月に公布され、公布から3年以内に施行される予定となっている。施行後は、民間事業者も障害のある方の社会的障壁を取り除くために必要かつ合理的な配慮を行わなければならない。

合理的配慮の義務化という極めて重要な改正であるにもかかわらず、改正内容を知らないという事業者が多いので、改正内容の啓発や民間事業者向けの研修の実施、さらには合理的配慮を提供する体制を整えるための助成制度などが必要だと考えるが、どうか。

健康福祉部長: 今年度は事業者向けの研修や県の広報媒体を活用した情報発信に取組む予定。市町村や経済団体との連携しながらスピード感をもって取り組みたい。

鳥取県、宮城県、滋賀県では合理的配慮への助成制度(点字メニューやチャリンの音訊などコミュニケーションツールの作成費用、筆談ボード・折りたたみ式スロープなどの物品の購入費用の助成)を設けて、県をあげて取り組んでいます。群馬県でも特に中小事業者向けに助成制度を創設できると共生社会の実現にぐっと近づくのではないのでしょうか。



改正障害者差別解消法

障害者差別解消法	合理的配慮の提供
国・地方公共団体	× 禁止
民間事業者	× 禁止

合理的配慮とは？
障害がある場合にスロープなどを使って補助する

民間事業者の合理的配慮の提供が義務化されます。
2021.6公布(3年以内に施行)

Q. 対象となる「障害のある人」とは？

障害者手帳の有無にかかわらず身体障害、知的障害、精神障害その他心身に障害のある人で、障がいや社会的障壁によって日常生活に相当な制限を受けている人すべてが対象です。

Q. 「民間事業者」とは？

会社やお店はもちろん、同じサービス等を繰り返し続ける意思をもって行う人たちのことを言い、ボランティア活動をするグループなども民間事業者に含まれます。

2.【強度行動障害】について

小川:【強度行動障害】とは、自分の体をたたいたり、食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど、本人の健康を損ねる行動、他人をたたいたり、物を壊す、大泣きが長時間も続くなど、周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動が著しく高い頻度で起こるため、継続的に特別に配慮された支援が必要とされている状態のことをいう。

家庭での養育が困難で施設の利用や入所を希望する当事者やご家族が多い一方で、行動の激しさや常に見守りが必要とされることから、この強度行動障害がある人に対応できる施設が限られており、なかなか施設に入所できないという現状がある。

県内の強度行動障害の実態と支援の状況はどうか。

健康福祉部長: 群馬県が令和3年に実施した調査では、施設入所を希望する障害者(待機者) 504人のうち強度行動障害の症状があるとされる人は273人となっている。

今年度は、事業者へのヒアリングを行い、ハード面の環境整備やマッチング支援など、民間事業者の受け入れ態勢の支援を行っていききたい。

待機者が一刻も早く適切な環境で支援を受けられるように、民間事業者の受け入れ態勢の整備(人材育成、マッチング支援、ハード面の環境整備)にスピード感をもって取り組む必要があります。また、他県では強度行動障害の人を受け入れる県立の施設やグループホームを設置しているところもあるので、県で施設を整備することも視野にいれてほしいと要望しました。



強度行動障害とは

- 自分の体をたたいたり食べられないものを口に入れる、危険につながる飛び出しなど、本人の健康を損ねる行動
- 他人をたたいたり物を壊す、大泣きが長時間も続くなど周囲の人の暮らしに影響を及ぼす行動
- 上記の2つの行動が著しく高い頻度で起こるため、継続的に特別に配慮された支援が必要となっている状態

※群馬福祉の社協のみでは「障害者差別解消法」の「行動関連項目」において10点以上(最大24点)を強度行動障害という。

《令和3年度待機者調査》
群馬県内の入所待機者
504人

※の中で
強度行動障害の状態にあると思われる見者
(行動関連項目10点以上)
273人

3.【障害者の文化芸術活動の推進】について

小川: 2018年6月に「障がい者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、障がいのある人が文化芸術(音楽、映画、絵など)を鑑賞したり創造したりするための環境整備が求められている。障がい者の文化芸術活動を推進するための支援推進拠点である【障がい者芸術文化活動支援センター】の設置が全国で進められており、2021年度末の段階で既に37都府県に設置されているものの群馬県は未設置となっている。支援センター設置に向けた検討状況はどうか。

健康福祉部長: 今年度は関係者のネットワークづくりや情報収集、相談支援などを行うモデル事業を実施する予定である。具体的な支援センターの設置は今年度のモデル事業の結果を見て検討する。



静岡県では、県が障害のある人の作品を有償で借り受けて県庁の各フロアに飾り障害者の文化芸術活動を広く周知する「県庁障害者アート空間化」という取り組みや、障害のある人の作品を企業等へ貸し付け、静岡県内まちじゅういたるところで障害のある人の作品を目にすることができる「まちじゅうアート事業」という事業を行っています。群馬県でも障害者の芸術文化活動を応援する仕組みを作っていきたいですね。

4.【障害者政策に関する知事の思い】について

小川: 群馬県の最先端の取り組みや明るい話題はたくさん伝わってくる一方で、障害者福祉については、困難を抱えている当事者とどう向き合ってどんな支援を行っていくのかが伝わってこない。特に強度行動障害について、群馬に居たくても受け入れられる場所がないから県外に出ていかざるを得ないという現状は、当事者にとっては県政に取り残されていると感じてしまうのではないかと。障害者福祉に関する知事の思いを伺いたい。

知事: 障がいのある人も社会の大切な一員であり、年齢性別国籍障害の有無等にかかわらず全ての県民が誰一人取り残されることなく幸福を感じることができる社会を目指している。障がいのある人が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように医療福祉教育、生活を支える基盤をしっかり整備していきたい。障がい者芸術文化活動支援センターの設置については早められないか検討したい。



5.【コロナ禍における女性の支援】について

小川: 長引くコロナ禍で非正規労働の影響や子育ての不安、孤独感の増加など様々な不安を抱える女性に対する支援の重要性が高まっているが、県ではどのような支援を行っているか。

生活こども部長: 女性相談センター等で行っていた電話相談に加えて、行政では手が届きにくい支援をNPO法人に委託し令和3年9月から相談支援事業【ぐんま・ほほえみネット】を実施している。電話相談、SNS相談に加えアウトリーチなど行政では手が届きにくい支援を実施し、昨年9月～3月までの間に799件の相談が寄せられた。また生理の貧困対策として、県立高校、大学、公共施設、私立の高校や大学・専門

学校に生理用品を配布した。今後は市町村や民間企業にも呼び掛けて、生理用品が必要な時に必要な人の手に届くように働きかけていきたい。

ぐんま・ほほえみ
ネットサイト



6.【流産や死産を経験した女性のグリーフケア】について

小川: 晩婚・晩産化の進展で不妊治療を受ける人が増える一方、流産や死産を経験した女性が適切なケアを受けられずにいる現状がある。流産・死産を経験した女性の相談ニーズ調査(厚労省)では、専門的な相談をしたいと答えている人が35%いるにもかかわらず、地域の相談窓口や保健センターに相談した人はわずか5.2%しかいない。流産や死産を経験した女性の悲しみや喪失感を支えるグリーフケアについて、どのような取り組みを行っているか。

生活こども部長: 流産や死産を経験した女性やその家族は子どもの命が失われたことを知る人が少ないため孤立しがちで、喪失感や悲しみに対する適切なケアが必要である。現在市町村の子育て世代包括支援センターで訪問や個別相談に応じるなどきめ細やかに支援しているほか、群馬県不妊・不育専門相談支援センター、ぐんま妊娠SOSでもグリーフケアが必要な方の相談に対応している。

相談に対応できる場所はあってもそれを知らなかったり、不妊不育や妊娠という言葉の印象から既存の相談窓口で相談しづらいケースもあるので、HPやリーフレットにもグリーフケアに対応できる旨をわかりやすく記載していただくことを要望しました。(例えば妊娠SOSのメールフォームは出産予定日を記入する項目などがあって、流産を経験した方にとっては心理的なハードルが高いため、グリーフケアが必要な方のメールフォームは別に設けるなど相談しやすい工夫が必要です)大阪府や静岡県のHPでは、流産や死産を経験された方向けのページを設けていて、県の相談窓口や民間の当事者団体、支援団体の一覧をまとめているので、是非参考にしたいところです。



その他、自殺対策について、子宮頸がんワクチンについて(リスクの周知と副反応被害者の支援)、農業政策についても質問しました。

こちらからご覧ください



みどり市の小平の里の一室をお借りして、群馬県林業研究グループ連絡協議会のみなさんと意見交換を実施しました。



群馬県林業研究グループ連絡協議会は、県内の20団体の林業研究グループにより組織されている団体で、林業やきのこ生産などの技術の研究改善などの自主的な活動により、後継者育成・地域林業の活性化を図っています。また機関誌の発行や研修会の開催、SNS等による活動内容の情報発信など、地域林業活性化のため積極的に活動を行っています。

今日は協議会の皆さんの取り組みの中から、レーザー計測による高精度の資源情報の整備やドローンの活用事例のほか、ブロックチェーンによる伐採許可証や伐採日、原木の樹種、大きさなどのデータの一元管理と伐出・運搬・加工までのサプライチェーンを可視化する提案、時代に合った補助金の在り方や、林福連携の取り組みについて伺いました。

国の【デジタル田園都市構想】においてもICT等を活用して森林施業の効率化・高度な木材生産等を可能とする「スマート林業」や、低コスト造林モデルの導入推進が掲げられているので、最先端の林業振興対策にもしっかり取り組んでいきたいですね！
なお、午前中は新田みどり農業協同組合で、桐生市、みどり市、太田市、伊勢崎市境平塚地区管内における野菜生産振興やGLOBAL G.A.P 認証の取組を調査する予定でしたが、豚熱の発生により急遽午後からの視察となりました。



味方になりきるコミュニケーション講座
2022.6.3

昨日は高崎市内の中学校で開催された【味方になりきるコミュニケーション講座】(ゲートキーパー講座)で講師デビューしました！

ゲートキーパー講座を受けたことは何度もあるけど、自分が講師をすると、子どもたちに伝える言葉のチョイスとか、タイムスケジュールの管理とか、わからないことだらけで、事前に何度もプレゼン練習。(練習にお付き合いただいた講師チームの皆さん、ありがとうございました)
おかげさまで本番は生徒たちと手のワークやグループワークをしながら、思い通りにならない時の気持ちや元気がない友達にどんな声をかけたらいいかを一緒に考えることができました。

元気がないときに言われると嬉しい言葉や悲しい言葉など生徒たちの率直な意見には、大人の方がはっとさせられることも多く、一人ひとり考え方や感じ方が違うんだということをもみんなでも共有できたと思います。
まとめの時間では、授業を受ける前と受けた後でどんな変化があったのか、友達にどんな言葉をかけてあげたいか、一人ひとりが真剣に考えてくれて、温かいメッセージをたくさん発表してくれました。
担任の先生からは、大人はつい「できるよ！頑張れ！」って言うので本当に良い勉強になりましたという感想も。何とか乗り切ったデビュー戦。時間配分など反省点を改善して、次回の講座に向けてさらにレベルアップしたいと思います！



【ゲートキーパーとは】
自殺のリスクにつながるような悩みに気づき、声をかけ、話を聴き、支援につなげ、見守る人のことを言います。

様々な悩みや困難を抱える人に対して、早期の「気づき」に対応できるように幅広い分野でゲートキーパーが養成されることが重要です。

群馬県では現在、保健師など専門人材を対象としたゲートキーパー講師の養成講座を行なっていますが、コロナ禍で若者や女性の自殺者数が増加したことを受けて、学校や企業内でのゲートキーパー講座の開催も増やしてほしいと議会の中でも提案しています。

今年度からは、提案するだけでなく、まずは自分のできることから！と思い立ち、民間NPOのゲートキーパー講師としての活動にチャレンジしています^^

【自殺予防ゲートキーパーオンライン講座】のお知らせ

長引くコロナ禍で、生活が追い込まれている人や人間関係に悩みを感じている人、無意識に不安やストレスを抱え込んでいる人が増えています。友達や仲間が発する小さなSOSに気づいて、安心の声かけ=『味方になりきるコミュニケーション』を伝えることで、大切な命を守ったり、いじめ防止や職場や社会の安心・安全につなげることができます。今年度は【基本編】【家族編】【職場編】【PTA編】に加えて、職場リーダーが部下の変化に気づき・声かけ・傾聴などを身に付け、適切な対応をすることができる【ラインケア編】と、ストレスの構造を知りセルフケアやアサーションを身に付けることができる【セルフケア編】が追加されました。是非ご参加ください。

お申し込みはこちら

Column

サイクリング日和！ 2022.4.30

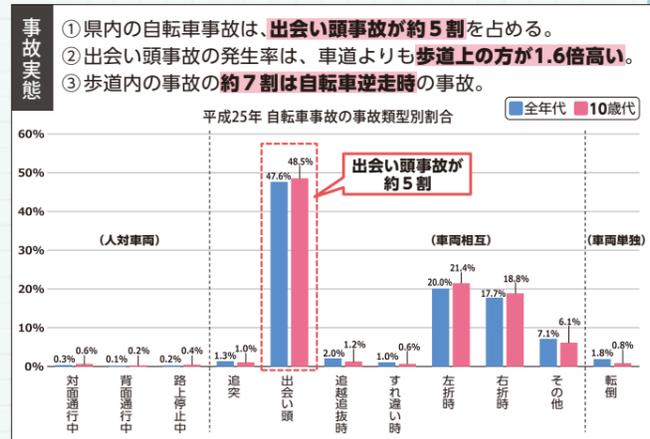
天気が良かったので、久しぶりに利根川自転車道をサイクリング。渋川の中村緑地公園まで。途中で蛇を轢きそうになったり、チェーンが外れたりと珍道中だったけど、たまには自転車も気持ちが良いですね！(だいぶ日焼けしました)



群馬県では2019年3月に【群馬県自転車活用推進計画】を策定し、自転車事故の削減を目指して、自転車を安全利用できる環境を創出するとともに、移動手段としての自転車活用を推進しています。中高生の自転車事故件数が毎年ワーストを争っている群馬県。自転車道の整備や安全教育・啓発を通じて、2018年(2,313件)を基準に、
●5年後の2023年までに……3割以上(69.3件以上)削減
●10年後の2028年までに……5割以上(1,156件以上)削減
を目指しています。

また、車社会(運転免許保有率、自動車保有台数ともに全国トップクラス)の群馬県は、その反面、ガソリンや電気のエネルギー消費量が多く、公共交通も衰退の一途をたどっているため、環境負荷の削減や公共交通の維持を考える上でも自

転車利用の推進はとても大切。今回は上毛電鉄に自転車を載せて電車×自転車の旅にチャレンジしてみたいですね！(上毛電鉄は自転車連れ込みOK電車の先駆者です！)
また、群馬県交通安全条例の改正により、2021年4月から自転車保険の加入が義務に、ヘルメットの着用が努力義務になっています。自転車に乗るときは、お気に入りのヘルメットと自転車保険も忘れずに！



詳しくはこちら

Shall we 投票? 2022年7月10日執行 第26回参議院議員選挙の投票率は?

全国 52.05%
群馬県 48.49%

群馬県内の投票率トップ3

- 神流町 … 80.74%
- 上野村 … 79.52%
- 南牧村 … 66.05%

前橋市 46.75%
高崎市 50.51%

活動報告

主な地元活動・参加行事
(掲載の都合上、割愛させていただく場合がございます。)

- | | |
|---|--|
| 4月 8日 赤城千本桜祭り | 5月 30日 一般質問 |
| 4月 9日 宇宙少年団前橋分団
ゲートキーパー WEB会議 | 5月 31日 一般質問、デジタル田
園都市構想勉強会 |
| 4月 12日 まつのやま塩倉視察 | 6月 2日 議会運営委員会、一般
質問 |
| 4月 15日 We are buddies れもん
ハウス訪問 | 6月 3日 味方になりきるコミュニ
ケーション講座 |
| 4月 16日 民社協会会議 | 6月 4日 前橋商工会議所青年部
創立45周年記念大会 |
| 4月 17日 室沢棚田サポーター俱
楽部ピクニック | 6月 5日 わんぱく相撲前橋場所 |
| 4月 19日 【七宝焼 絵画 2人展】 | 6月 6日 議会運営委員会、本会議 |
| 4月 20日 政務代表者会議 | 6月 7日 総務企画常任委員会 |
| 4月 21日 前橋青年会議所4月例会 | 6月 8日 総務企画常任委員会 |
| 4月 22日 環境農林常任委員会県
内調査、前橋中央倫理
法人会倫理経営講演会 | 6月 9日 恵風理事会 |
| 4月 23日 赤城山裾野の春祭り | 6月 10日 子育て・障害者に関する
特別委員会、白井けいこ
総決起集会 |
| 4月 24日 ローター地区大会、
後援会女性部主催たけ
のこ掘り | 6月 12日 前橋青年会議所交流会 |
| 4月 25日 連合議員懇談会、未来
構想フォーラム | 6月 14日 議会運営委員会、リベ
ラル議員団会議、MOO
カフェ牧場 |
| 4月 26日 あおぞら勉強会 | 6月 15日 本会議(閉会)、LOKAHI
リトルベビー群馬との意
見交換会 |
| 4月 30日 サイクリング | 6月 16日 連合群馬女性セミナー |
| 5月 2日 あかね工房視察、田島
一雄個展 | 6月 17日 なんもく夜探検ツアー |
| 5月 3日 平和集会 | 6月 19日 東地区女子ソフトバレ
ー大会、前橋青年会議所6月
例会(群馬ブロック大会) |
| 5月 4日 新町スポーツクラブ・
キッズスポーツアカデ
ミー体験会 | 6月 20日 かんなの里視察 |
| 5月 7日 茂木紘一個展 | 6月 21日 ぐんま女性議員政策会
議役員会 |
| 5月 8日 室沢棚田サポーター俱
楽部 | 6月 22日 参議院選挙スタート |
| 5月 13日 連合意見交換 | 6月 23日 連合前橋地協幹事会(県
政報告) |
| 5月 14日 宇宙少年団前橋分団 | 6月 25日 総社町北小学校ほたる
祭り |
| 5月 17日 議会運営委員会、リベ
ラル群馬議員団会議 | 6月 29日 LOKAHIリトルベビー群
馬交流会参加 |
| 5月 19日 前橋商工会議所女性部
総会、部落解放同盟群
馬県連合会定期大会 | 6月 30日 OMUSUBI展Vol.6「かん
な×チハヤ」 |
| 5月 21日 朝鮮学校公開授業、宇
宙ワークショップ、前橋
青年会議所5月例会 | 7月 4日 社会教育委員会 |
| 5月 22日 連合群馬ふれあいフェ
スティバルinまえばし
本会議(第2回定例会開
会) | 7月 10日 参議院選挙投票日 |
| 5月 24日 前橋中央倫理法人会周
年式典 | 7月 14日 群馬県立しらがね学園
視察 |
| 5月 27日 前橋中央倫理法人会周
年式典 | 7月 15日 LOKAHIリトルベビー群
馬写真展(前橋市役所) |
| 5月 28日 ひこばえ研修会 | |



Facebook &
BLOG

akira-o.jp/blog/

GO!

フェイスブック
& ブログ
やっています!
ぜひ一度覗いて
みてください



【LOKAHI リトルベビー群馬】さんとの意見交換会

投稿日：2022年6月15日

【LOKAHI リトルベビー群馬】さんは早産児・低出生体重児の親の会として2021年に立ち上げられたサークルで、同じ境遇の家族の交流はもちろん、当事者以外の多くの人に早産児と家族の想いを知ってほしいと各地でパネル展などを開催しているとのこと。

6月22日は【らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日】です。県庁1階の県民ホールでは、6月21日から県内にある国立ハンセン病療養所「国立療養所栗生楽泉園」についてのパネル展示が始まりました。ハンセン病の歴史や日本における隔離政策、らい予防法廃止に向けた運動、楽泉園の中の生活の様子など、学芸員さんが丁寧に解説してくれて、自由と権利を求める力強い行動があったことや芸術文化活動をはじめとした豊かな生活の一端を知ることができ、同時に長期間の隔離政策には政治の責任を強く感じました。

7月からは楽泉園の社会交流会館で手芸倶楽部の作品展も開催されるそうです。この機会に草津まで足を運んでみてはいかがでしょうか^^

らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日

投稿日：2022年6月21日

通常母子健康手帳は満期産を前提に作られていることから、早産等によって小さく生まれた赤ちゃんは成長の記録や確認をすることができません。そこで、小さく生まれた赤ちゃんと家族のための『リトルベビーハンドブック』を導入する自治体が少しずつ増えています。群馬県ではまだ導入に至っていませんが、みんなで暖かく子どもの成長を見守っていける環境を作っていきたいですね!

国立療養所
栗生楽泉園



LOKAHI
リトルベビー
群馬



サポーター・ボランティア募集

みんなおいでよ!!



Akira OGAWA

1982年・農家の長女として誕生。中央大学在学中に司法試験合格。前橋地方裁判所で司法修習の後、群馬弁護士会へ登録。2011年・群馬県議会議員(初当選)。現在3期目・リベラル群馬。

お神輿(お祭り)好きの庶民派。

政治を身近に☆体験しませんか!?

小川あきら事務所

〒371-0844 群馬県前橋市古市町 1-43-7 1F

TEL.027-255-7700 FAX.027-255-7788

URL.http://akira-o.jp Email info@akira-o.jp

